


どんな訓練があるの？何をするの？

訓練というと怖い、厳しい、我慢、苦痛のような響きがありますが、介護保険制度でこの名称で統一するように指導されている使っていますが、気軽に気楽に参加してください。楽しく無理なく続けられるサービスです。
デイにまた皆さんで行う集団機能訓練と、個別サービスを受ける方対象で、似たような問題を抱えた方が集まって行うグループは当日の全部の利用者様と行い、料金はかかりません。

<h2>機能訓練名</h2> 	<p>原則当日の利用者様全員を対象に行います。楽しい雰囲気を大事にします</p> <ul style="list-style-type: none">・運動動作中に「息をつめない」ように注意します・基本的に急激急速な動きは避け、ジワリと行います・椅子からの転落や転倒が無いような運動にします。 <p>目的は、 関節可動域の改善、筋力維持強化、運動協調性の改善 重心移動とバランス、リラクゼーション(力抜き)</p>
<h2>個別カウンセリング</h2>	<p>起床、洗面、調理、食事、排泄、外出、入浴等の生活機能を中心に悩みや期待を「キ」とした自立した生活を維持したり、向上させるための目標を一緒に作ります。目標職員等とも協働出来るよう連携を進めていきます。</p> <p>現実には</p> <ol style="list-style-type: none">①生活機能を運動機能、精神機能などに置き換えリハビリ計画(個別機能訓練計画)②機能的な障害で自力で困難な場合(危険な状況が予想される)には、援助体制を進めます。デイ内では介護職、看護職、相談員と援助体制をつくります。③自宅での生活習慣やリハビリ習慣の伝達は相談員(→ケアマネーサービス事資源へと伝達)を中心に進めます。
<h2>グループ機能訓練</h2>	<p>同じ悩みや苦しみ目的を持つ方々を同じグループにし、共同してストレッチや負荷グループのおもだった種別は3種ですが、その中でもニーズにあわせて細分化するになります。グループ機能訓練の楽しさは利用者様が親しくなるにつれ、支え合い</p> <ol style="list-style-type: none">①体力をつけるスタミナクラス: 起立や座位保持が出来ない方、下半身麻痺、神経圧迫症の方等②体力を維持するメインテナンスクラス: ふらつきがあっても歩行できる方、シルバーカーや杖を使用している方、胸円背がひどくバランスが取れない方③体力を強化するストレングゼンクラス: 歩行は出来るがもっと筋力をつけたい、マシン運動や負荷運動が出来る方 運動機能強化の他、音楽療法、嚥下運動、脳トレ運動など五感を刺激する機能訓練指導員のもと、介護職、看護職などと協働して行います。
<h2>個別機能訓練</h2>	<p>当日については機能訓練指導員が行います。 個別カウンセリングとケアマネさんからの長短期の計画を元に個別機能訓練の援助体調が思わしくないときは、体調に合わせて、援助方法のメニューや負荷を変えながらサービスを行います。</p>
<h2>訓練評価</h2>	<p>定期的に訓練結果を評価しご報告します。</p> <ol style="list-style-type: none">①毎月報告する利用状況報告書に要約を報告致します。②3ヶ月毎に体力測定、身体バランス、運動能力等を計測し、利用者様やご家族生活機能に引き直した評価表をご報告します。